

モールドジスコン（MDS）における点検のポイント

外観点検

- ・ MDS が見えにくい場所に設置されている場合は、ライトを使用して多方向から観察する
- ・ 可動モールド先端部に水分付着等による変色がないか確認する
- ・ キャビネット内部の金属や操作ハンドル等に錆がある場合、キャビネット内部に水滴が付着している場合は、湿気の影響を考慮する
- ・ MDS から異音（シャー、チリチリ、ビチツ等の音）が発生していないかを確認する

MDS 開放時の点検

- ・ 固定モールド基礎部の樹脂バンド（ゴム）に損傷・変形等がないか確認する
- ・ 可動モールド内部のパッキンや内壁に異常がないか確認する
- ・ 固定モールド外壁や可動モールド内壁に水滴や埃等の付着がないか確認する
- ・ 固定モールド外壁に微かな焼損跡やヒビ模様がある場合は、沿面地絡の初期段階である可能性が高いため、更新を推奨する

測定の注意点

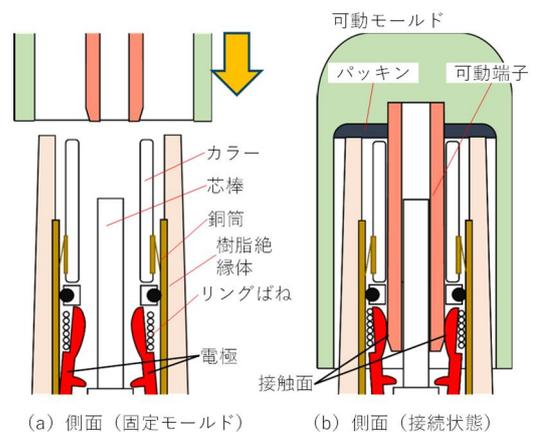
- ・ MDS の絶縁性能が低下していない場合は、測定で異常を検知できない場合がある
- ・ 絶縁性能が低下していても乾燥状態では放電が発生しにくいため、検知が難しい場合がある
- ・ 湿気がある場合は超音波式放電探知機により確認する
- ・ 10kV 絶縁抵抗計等による測定で、キックや指針が安定しない現象が発生した場合は絶縁性能の低下を疑い、詳細に確認する

その他

- ・ キャビネットの床に埃がないか確認する
- ・ MDS の開閉操作においては、可動モールドは清潔な面に置き、内壁等に埃が付着しないように注意する



（図 3）固定モールドの汚損例



（図 4）MDS の構造イメージ